

平成 28 年度 第 1 回岡谷市総合教育会議 会議録

以下のとおり、会議内容について報告いたします。

-
- 会議名 平成 28 年度 第 1 回岡谷市総合教育会議
- 日 時 平成 28 年 5 月 30 日（月）午後 4 時 30 分～5 時 35 分
- 場 所 市役所 202 会議室
- 出席者 **構 成 員** 今井 竜五市長、岩本 博行教育長、草間 吉幸教育長職務代理者、
橋爪 園美教育委員、小野 繁男教育委員、太田 博久教育委員
市長補佐 小口 明則副市長
事 務 局 岩垂企画政策部長、岡本企画課長、味澤主幹、鈴木
補助執行 吉澤教育部長、橋爪教育担当参事、帯川教育総務課長、高橋主幹
- 欠席者 **構 成 員** 高木千奈美教育委員
- 会議事項 1 平成 28 年度予算について
2 岡谷市教育大綱に基づく平成 28 年度岡谷市教育委員会基本方針について
3 学校統合後の様子について
4 その他
- 配布資料 平成 28 年度岡谷市教育委員会基本方針
-

1 開会

企画政策部長 定刻となりましたので、平成 28 年度 第 1 回岡谷市総合教育会議を開催します。
最初に、市長よりごあいさつを申し上げます。

2 市長あいさつ

市長 本日はお忙しい中、岡谷市総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、教育長をはじめ教育委員の皆様方には、日頃より、本市の教育の向上と発展に向けて、大変なご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。
今年度、本市の教育行政は新たな局面を迎えています。
「岡谷小学校統合計画」に基づいて統合校となりました岡谷田中小学校と神明小学校は、新たな体制でスタートを切りました。また、今年度の予算は、皆様に長い時間をかけてご議論いただき、昨年 12 月に策定いたしました「岡谷市教育大綱」の理念が反映されたものになっています。
本日は、平成 28 年度の第 1 回目の会議ですので、今年度の予算や方針などについてご説明させていただきます。その後、皆様と活発な意見交換をさせていただこうと思います。本日はよろしくお願いします。

企画政策部長 どうもありがとうございました。
続いて、岩本教育長よりごあいさつを申し上げます。

3 教育長あいさつ

教育長

教育委員会を代表して、一言ごあいさつを申し上げます。

市長をはじめ市の関係者の皆様には、日頃から岡谷市の教育行政発展のために大きなご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

今年は、本市にとって市政施行 80 周年という節目の年ですが、教育行政にとっても大きな節目を迎える年です。

昨年度、この総合教育会議での協議・調整を経て策定していただきました「岡谷市教育大綱」の取組元年です。後ほどご報告しますが、今年度は、大綱に基づいた教育委員会の基本方針を定めました。

次に、岡谷小学校が田中小学校及び神明小学校と統合し、新たに岡谷田中小学校、神明小学校としてスタートした統合元年でもあります。同時に、全ての小中学校において、校長先生を先頭に、統合を契機とした魅力と活力ある学校づくりがスタートした、そんな年でもあります。

さらに、私事ではありますが、今年の 4 月 1 日に市長から教育長として任命いただき、新体制で教育委員会がスタートしました。私も身の引き締まる思いで職務にあたっているところです。

今後も、市と教育委員会の関係が一層活性化することで、本市の教育行政が更に前に進むことができると考えています。引き続きお世話になります。また、本日はよろしくお願いいたします。

企画政策部長 どうもありがとうございました。

4 会議事項 1 平成 28 年度予算について

企画政策部長 続きまして、本日の議題に入らせていただきます。

本会議の運営規則に基づき、これ以降の議事進行につきましては小口副市長にお願いします。

副市長

副市長の小口です。どうぞよろしくお願いいたします。

早速、次第に沿って進めさせていただきます。

初めに、平成 28 年度予算について、今井市長より説明をお願いします。

市長

本市の今年度予算について、少しお時間をいただいて説明させていただきます。

平成28年度は、「第4次岡谷市総合計画」後期基本計画の3年目として、厳しい財政状況にあっても、より効果的な施策を効率的に実行するとともに、計画期間である平成30年度を見据え、更なる成果が求められています。また、人口減少と地域経済の縮小という課題を克服するため、「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた事業を展開し、岡谷市の創生を加速していく重要な年です。

このため、平成 28 年度を「未来の岡谷を育む年」と位置づけ、社会情勢の変化や多様な市民ニーズを踏まえつつ、昨年度に引き続き、3つの重点施策として「たくましい産業の創造」、「輝く子どもの育成」、「安全・安心の伸展」を掲げ、事業の選択と集中を図り、限られた財源を、真に必要な施

策に重点的かつ効率的に配分しました。

本日は、皆様に深く関わっていただいております教育分野を抜粋して説明しますが、「岡谷市教育大綱」に掲げる教育の理念「自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」を反映した予算となっています。

学校教育の充実については、子ども総合相談センター、フレンドリー教室や中間教室、学校・専門機関などがお互いに連携しながら、子ども一人ひとりの状況に応じて、きめ細やかな支援を行います。

また、心身の障がいや発達の遅れ、生活や学習の困難さを抱える子どもへの特別支援教育については、県下でも先進的な取組が進んでいますので、引き続き専門的な支援や指導を行います。

統合校である岡谷田中小学校、神明小学校においては、市内企業と連携したものづくり体験学習や児童間交流を通して活力ある学校づくりを推進するとともに、遠距離通学となる児童を対象とする通学バスの運行や、クラスの状況に応じた教員の加配を行っています。

また、統合校における魅力ある学校づくりを市内の全小中学校へ波及させるため、「魅力ある学校づくり交付金」を創設し、各校が行う総合的な学習を支援します。製糸やものづくりなど、岡谷にちなんだ地域資源を活用した学習は、子どもたちの郷土愛を育み、まちの未来を支える人材の育成につながるものと期待しています。

教育施設の整備については、引き続き岡谷西部中学校の耐震改修事業を進めるほか、岡谷南部中学校では、学校統合に伴う生徒数の増加に対応するため、教室などの改築を行います。

また、岡谷小学校では校舎の解体に着手し、周辺住民の皆様の安全・安心の確保に向けた対策を進めます。

青少年の健全育成については、学童クラブ室の空き時間を活用し、放課後子どもの居場所づくり事業スタッフの活動を充実させる取組をモデル的に実施します。

文化・芸術の振興については、岡谷美術考古館において、本市出身・在住の現代美術作家 根岸芳郎先生を紹介する展覧会を開催するとともに、本市、岡山県玉野市、群馬県富岡市出身の芸術家3名による「姉妹都市アーティスト展」、静岡県東伊豆町との合同による「雛のつるし飾り」を行い、市制施行 80 周年を姉妹都市とともに演出します。

スポーツの振興については、運動への苦手意識の克服を目的とする「おかや小学生体育塾」、運動神経が一番伸びるといわれている小学校 1・2 年生の体育の授業に専門指導員を派遣し、遊びを通じて運動神経の発達を促す「かがやけ おかやキッズ 体力アッププログラム」などにより、気軽にスポーツに親しめる機会を提供します。

また、平成 29 年 1 月には、やまびこスケートの森アイスアリーナで「第 72 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会」の開催を予定しています。以上です。

副市長 ありがとうございました。

 ただいまの説明について、皆様からご質問等がありましたらお願いします。

小野教育委員 「魅力ある学校づくり交付金」を使って新たな事業が推進されると思いますが、学校の先生方と話す中でも、こういった事業・予算はたくさんほしいと思いますので、更なる充実をお願いします。

市長 各校の取組内容が、いい意味で学校の励みや喜びになればいいと思いますので、教育長の意見をいただきながら検討していきたいと思います。（交付金を創設して）初年度なので、（平成 29 年度予算の）金額の問題は、（今年度の取組の）成果の結果になると思います。

草間職務代理 学童クラブについて、予算ゼロの事業（マンパワー事業）が計画されていますが、教育の他の分野でこのような事業はありますか。

副市長 （教育では他に該当事業はないが）市内の保育園・幼稚園で紙芝居を使って防災教育を行う「子ども防災教室」などがあります。

副市長 何かお気づきの点があれば、最後の意見交換の際にご発言ください。

5 会議事項 2 岡谷市教育大綱に基づく平成 28 年度岡谷市教育委員会基本方針について

副市長 次に、岡谷市教育大綱に基づく平成 28 年度岡谷市教育委員会基本方針について、帯川教育総務課長より説明をお願いします。

教育総務課長 昨年 12 月に策定した「岡谷市教育大綱」に基づいて定めた「平成 28 年度岡谷市教育委員会基本方針」について、資料に基づいて説明させていただきます。

 「岡谷市教育大綱」に掲げる教育の理念「自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」をめざして、各分野でスローガンを掲げています。

 はじめに、学校教育分野では「生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり」をスローガンとして、その実現に向けて、今後重点的に取り組む 5 項目を掲げています。

 これらの 5 項目を受けて、平成 28 年度の基本方針として、「学力保障」と「成長保障」を図るために、「統合後の円滑な学校運営」、「地域に根ざした魅力と活力ある学校づくり」、「安全安心を確保する学校施設の整備」、「特別支援教育の充実」という 4 つの重点項目に取り組めます。

 先ほど市長からお話がありましたが、平成 28 年度は、これらの重点項目を達成するための予算を配分していただいたところです。

 次に、生涯学習分野では「歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり」をスローガンとして、その実現に向けて、今後重点的に取り組む 4 項目を掲げています。

 これらの 4 項目を受けて、平成 28 年度の基本方針として「放課後子どもの居場所づくり事業の充実」、「カルチャーセンターと公民館の連携促進」、「岡谷版コミュニティスクールの推進」、「地域子（己）育てサポーターの活性化」という 4 つの重点項目を掲げ、各施策を展開します。

 次に、スポーツ分野では、「親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひ

とづくり」をスローガンとして、その実現に向けて、今後重点的に取り組む5項目を掲げています。

これらの5項目を受けて、平成28年度の基本方針として「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」、「成長に応じた子どものスポーツ機会の充実」、「国体開催によるまちづくりの推進」、「安全快適なスポーツ施設の管理・整備」という4つの重点項目を掲げ、各施策を展開します。

以上が、今年度、教育委員会が分野ごとに取り組む重点方針です。

各分野でめざす岡谷の「ひとづくり」に向けて、魅力ある学校の力、共生社会を支える地域の力、ひとづくりの根幹を担う家庭の力の充実を図り、互いに連携しながら、行政との協働によって進めていきたいと思ひます。以上です。よろしくお願いします。

副市長 ありがとうございます。

ただいまの説明について、皆様からご質問やご意見などがありましたらお願いします。

市長 学校教育分野ではなく、生涯学習（分野の重点項目）に「岡谷版コミュニティスクールの推進」が組み込まれていますが、この部分の考え方を教えてください。

教育担当参事 岡谷市の「子どもの居場所づくり事業」は、全校で実施している点、また地域の方々に関わっていただいている点が大きな特長ですが、この部分はコミュニティスクール（の考え方）と非常に重なっています。（岡谷版コミュニティスクールの推進に向けて）教育総務課としても取組を行っていますが、「子どもの居場所づくり事業」を担当している生涯学習課と一緒に取り組んでいます。

市長 地域に学び貢献する生涯学習であってほしいという部分で言うと、地域ぐるみでコミュニティスクールを成長させていくために、地域の皆さんに貢献していただくという捉え方でいいでしょうか。

教育長 はい。

市長 もう1つ、スポーツ分野の重点項目「国体開催によるまちづくりの推進」について、せっかく（岡谷市内で）開催されるので、まちづくりなど地域の様々なことにフィードバックしたいと思ひます。子どもたちがスポーツをしたいという気持ちになってくれるような国体にしたいと思ひますので、よろしくお願いします。

教育長 大勢の子どもたちに応援に来てもらい、全ての出場県の選手をみんなで応援して、そこから様々なつながりを持って、地域の良さを再発見する良い機会になればいいと思ひます。子どもたちにとっても地域にとっても、良い国体になればいいと思ひます。

市長 市民やボランティアの皆さんに活動いただくなど、主催地としては相当なマンパワーがかかると思ひますので、そんな意味を含めて、地域ぐるみで、子どもたちにもフィードバックできるようにしたいと思ひますのでよろしくお願いします。

教育部長 おもてなしの部分にしっかり取り組みたいと思います。

教育長 今日（やまびこアイスアリーナの）竣工検査で、実際の会場を見せていただきましたが、予想以上に立派な施設で、この会場をぜひ活用しなければいけないと思いました。教育委員の皆さんにも会場を見ていただき、様々なアイデアをいただければと思います。

5 会議事項3 学校統合後の様子について

副市長 次に、学校統合後の様子について、岩本教育長より説明をお願いします。

教育長 それでは私から、「希望と笑顔あふれる」統合式典から2ヶ月経った岡谷田中小学校、神明小学校の様子について報告させていただきます。

現在の児童数は、岡谷田中小学校が421名、神明小学校が456名です。おかげさまで両校とも大きな問題も無く、落ち着いたスタートが切れたと感じております。

まず、子どもたちの様子ですが、統合前から新しい環境になじむことができるよう、様々な交流事業などにより準備を進めてきたこともあり、新しい人間関係や環境に上手に順応し、元気に頑張る姿が見られます。

子どもたちからは、「友達になれるか心配だったけど、話してみたら楽しかった。」、「分からないことだらけで不安だったけど、帰る時には楽しくなりました。」、「統合してから友だちが元岡谷小の人たちだけでもたくさんできてうれしい。」といった声が聞こえてきました。私たちにとっても本当にうれしいことです。

また、バス通学にも慣れ、地域の方々の見守りのおかげもあって、安全に留意しながら元気に通学しています。

心配していた心の不安についても、今のところ問題はありませんが、慣れるのに多少時間のかかる子どももいますので、先生方には温かく見守り、声がけしていただくようお願いしているところです。

先生方にはこの統合を前向きに捉えていただき、統合によって子どもたちが一層輝くよう、きめ細やかな配慮をいただいています。

今後も、乗り越えるべき課題はいくつか生じてくるかと思いますが、保護者や地域、先生方、市教委が一枚岩になって、最善を尽くしてまいりたいと考えています。

統合に伴い、先生方の負担が増している部分もあろうかと思いますが、統合企画教員による連携や市費による教員の加配により、きめ細やかな学習支援や心の支援が行えていることに感謝を申し上げたいと思います。

保護者や地域の方々にも、これまでの統合までの経緯を踏まえつつ、学校や子どもたちを温かく見守っていただいています。保護者の皆さんの中には不安を感じている方もいらっしゃると思いますので、そういった思いや意見も大切に受け止め、子どもたちの笑顔に満ち溢れる学校づくりを念頭に、子どもはもとより、保護者の皆さんに対しても丁寧な対応に心がけ、不安の解消に努めてまいりたいと考えています。

また、統合に伴い、岡谷版コミュニティスクールを支える多くの組織やボランティア団体の皆様との調整、校歌・校章の検討などいくつかの課題は残っていますが、この統合をきっかけに、学校を軸に地域で子どもを支えることができる魅力ある学校づくり、地域に誇ることができる特色ある学校づくりを進めてまいりますので、引き続きご支援をお願いしたいと思います。以上です。

副市長

ありがとうございました。

ただいまの説明について、皆様からご質問やご意見などがありましたらお願いします。

市長

教育委員の皆様のご理解とご協力のもとに統合をスタートすることができて、感謝しています。

子どもたちの最近の様子を伺って、特に岡谷小学校の子どもたちには大変な経験をさせたのだと思いました。一部の保護者はまだまだ不安を持っていると思いますので、丁寧に対応し、不安の解消に向けて継続して対応しなければいけないと思います。皆さんと力を合わせて、（子どもたちが）この2校を母校だと思える学校づくりをしていきたいと思います。

教育長

地域の皆さん、保護者の皆さんが予想以上にしっかりと応援していただいていることを、本当にありがたく思います。

市長

先日、ふれあいたいむ（旬間）に、本町交差点から岡谷田中小学校までの様子を見せてもらいましたが、岡谷区・新屋敷区の皆さんが上浜区のあたりまで、また小尾口区の皆さんも子どもの安全を守っている姿を見て、ありがたいと思いました。

教育長

神明小の方もしっかり見守っていただき、改めて、岡谷市にはそういう土壤があるのだと思いました。

市長

また、先日、岡谷田中小学校で桑の苗木を植樹しましたが、子どもたちはあっという間（に新しい環境になじん）で、（3月まで）どちらの学校だったのか区別できませんでした。

太田委員

昨日、岡谷田中小学校の1年生のお手伝いをさせていただきました。1年生を見る限りでは違和感なく感じましたが、5～6年生の子どもたちや保護者の皆さんには若干の違和感が残っているように感じました。（統合から）年数が経つほど一体化は進むだろうと実感しましたので、その間にしっかりとケアをしていけば、良い統合が進むのではないかと思います。

副市長

カノラホールでの式典も素晴らしく、順調なスタートだったと思います。

市長

先生方にも細やかな心遣いをいただいています。

教育長

スタートがうまくいったからこそ、これから一步一步、学校統合が着実に進んでほしいと思います。

市長

岡谷田中小学校、神明小学校ともに、市内の小学校としては大きい規模になるので、引き続きよろしくお願いします。

教育長

こちらこそよろしくお願いします。

5 会議事項 4 その他

副市長 次に、4 その他について、皆様から連絡事項などがありましたらお願いします。

草間職務代理 (学校) 統合について、感想を述べさせていただきます。

3年間、(学校) 統合に向けて全力で取り組んできましたが、この間、行政、学校、保護者、地元の皆さんに多大なるご尽力をいただき、1つ1つ課題を解決しながらこの4月を迎えました。

岡谷市にはスクールバスなどにまで気を配っていただき、そういう気持ちは、地元にも保護者にもよく伝わっていると思います。今、子どもたちは毎日楽しく学校に通っています。

岡谷市の行政の施策は素晴らしいものがあると思います。教育長を中心に「チーム学校」として、岡谷田中小学校と神明小学校の子どもたち、また先生方もそれぞれしっかり融合して、早く新しいカラーを出していただけたらと思っています。

今、地域の方々が熱い情熱を捧げて、朝の運動、(放課後)居場所(づくり)、読み聞かせ等を行っていただいています。今後、子どもたちの成長支援、学力支援に向けて、学校の先生方に頑張っていただくとともに、地域の方々にもう一步進んだ学校支援をしていただくことはできないだろうかと思っています。例えば、ドリルや宿題を手伝うなど全ての基本を子どもたちに教える機会を作ったり、また、(中学の)部活動はスポーツ系でも文化系でも専門の先生が教えることが難しくなっているので、地域の方々の生きがいのためにも、地域の方々が気軽に学校に入れる組織ができればいいと思います。

子どもの人間形成のために、岡谷版コミュニティスクールには学校教育と生涯学習の両方(の視点)が必要で、地域全体で支えていけば、岡谷独特の素晴らしいコミュニティスクールができるのではないかと思います。そのためには、市民の方々が気軽に参加できるよう、予算というよりもマンパワーを活用した仕組みをぜひ考えていただいて、1+1が2以上の力になる学校づくりを進めていただければと思っています。

市長 地域の人たちに貢献してもらえる仕組みづくりができればいいと思います。1年だけではなく継続が必要な取組なので、そのあたりをどのように進めるかが課題だと思っています。

草間職務代理 地域には、そういう(活動をしたい)方がたくさんいます。

市長 それが岡谷版コミュニティスクールの形だと思うので、支援をしていきたいと思っています。やはり、岡谷の子どもは岡谷で育てたいですね。

草間職務代理 冬季国体などの機会に、なるべく多くの子どもに一流のレベルを見せて感動させてあげたい、岡谷の歴史をしっかりと記憶してほしいという気持ちが強くあります。

副市長 引き続き、自由に意見交換という形で進めたいと思います。

小野委員 最近、子どもに能力を付けさせるために、学校法人ではない岡谷市外のフ

リースクールへ通わせる動きが出てきているので、子どもたちにとってどういう形がいいのか、教育委員会の中で対応を考えるべきだと思います。いろいろな競争によって（このような動きが）なし崩し的に進み、最後にはまとまらなくなるのではないかと心配しています。

市長

国の規制緩和や制度改正によって出てきた制度だとは思いますが、リースクールが進学などに活用されるというのはショッキングな話です。岡谷の子どもは岡谷で育てたいという視点で言えば、岡谷の学校で基本的な学力保障をきちんとしていかなければならないと思います。

小野委員

リースクールや私立の学校に通うにはお金がかかるので、公教育にそのような部分を取り入れないと、（学力に）差がついたままになってしまうと思います。

市長

お金はもちろんですが、教える先生や、家庭・地域の人材というのが一番大切だと思います。隣の友達と何年か一緒に学校に通い、また、将来（岡谷に）帰ってきたときに友達がいるというのは非常に大事なことです。

教育長

小野委員のおっしゃったことはとても大事なことで、教育の多様性について真剣に考えなければなりませんと思います。中高一貫、小中連携など、多様な教育のシステムを認めようという動きに変わってきています。それだけ子どもに多様性があるので、教育だけが今までと同じ体制では、（時代に）ついていくことができないと思います。

また、今私たちが頑張っている学校教育、（すなわち）公教育の目的や意義をしっかりと打ち出していけないと思います。教育委員会として、どんな良さがあるのか胸を張って市民の皆さんや子どもたちに伝えていくことが大事だと思います。

学力保障は本当に大事なことで、学力保障と成長保障は一緒のものだと思います。この点については、もう一度校長先生たちと相談しながら、市民の皆さんにしっかりとアピールしなければなりませんと思っています。

橋爪委員

宿題代行のビジネスが成り立っているという怖い話があります。親御さんが「学校にはこんないいことがある」、「子どもにはこんな教育が必要だ」と思えるまで（学校教育の）質を高めるとともに、（学校教育の）良さを知っていただく努力をしなければいけないと思います。

太田委員

学力保障はこれから先の非常に大きなテーマであり、課題だと思います。私は、教育委員を仰せつかって1年3か月、また、以前にも小中学校のPTA活動に関わり、通常の父親よりも岡谷市の教育について知っているつもりでしたが、全然知らないことがたくさんあったことに改めて気付かされています。

現時点でも、当たり前に見えるけれど、他の地域と比べると、まちの魅力として十分にアピールできる要素がたくさんあると思います。

例えば、（通学時の）見守りについて、全市のほぼ全ての通学路で、毎朝・夕方に、地域の方々が立って見守ってくださる体制ができている、ここに

行きつくまでには紆余曲折があったとは思いますが、その価値はものすごいことだと思います。

関わってくださるボランティアや保護者の皆さん一人ひとりの気持ちもありますし、また、各区が持つ存在意義がとても強くからんでいると思います。もし、他の自治体で子どもの安全を守ろうとして、岡谷市のような取組をやろうとしても、決してできるものではないと思います。

給食についても、各校に栄養士が（配置されて）いて、設備があり、定額で、子どもたちは自校で作られた温かい給食を毎日食べることができる、それが全市的に揃っているのは貴重なことなのではないかと思います。

こういう変化の激しい時代に将来を見据えたとき、市、地域、国、社会が抱える課題というのは、おそらく誰も経験したことがないものになると思いますが、それにどう立ち向かい、（未来を）切り開いていくのかという世の中になると思います。その中では、教育大綱にある「ひとづくり」の価値がますます大きくなっていくような気がします。

以前に、悩みのあるお母さんと学校で話をしたときに、子ども総合相談センターの窓口があることをご存じありませんでした。もちろん活用している方もいらっしゃいますが、もっと様々な機会にアピールして活用していただき、活用していただくことによってブラッシュアップされていく、そういうことができると思います。

もしかしたら、「ものづくり」だけではなく「ひとづくり」のまち岡谷としても人を呼ぶことができる価値があるのではないかと思うことが多くあり、私どもも教育大綱元年にそんなつもりで関わりたいと思いますので、岡谷市のまちのことも念頭に置いていただければと思います。

市長 岡谷の教育は、様々な方々のご協力をいただけてかなりいいものができていると思いますが、若い世代の方々から「岡谷市はそれをなぜ発信しないのか」というご指摘をいただいています。「ものづくり」だけではなく「ひとづくり」のまちだと言っていたらとても嬉しく思う反面、声を大にして言うことの責任はありますが、できるところはPRしていきたいと思っています。

橋爪委員 子ども総合相談センターについて、岡谷市に新しく赴任した校長先生や転出する校長先生から「この相談機能があって非常に助かる」、「岡谷市は素晴らしいものを持っている」という話を何度も伺っていて、子ども総合相談センターが充実してきていることを本当にありがたく思っています。

以前、市長に（子ども総合相談センターが）こうなったらいいな…という願いを図式化したものを見ていただいたことがありましたが、その図にじわじわと近づいているように感じています。市長との懇談の中で、一度に（相談体制を）完成させるのは難しいことだと分かりましたが、同時に、一つ一つ作っていけば実現できるかもしれないという思いを強くしました。

例えば、視知覚の発達に偏りがあって学習がうまくいかない子どもに対し

て、子ども総合相談センターの専門カウンセラーによる低学年からの支援ニーズの把握とトレーニングが実現してきています。小学校１・２年の段階からそのようなケアを受けられるのは子どもたちにとってとても幸せなことだと思いますし、支援が受けられなかった場合、成長がどのように止まっていたのかを考えると、とても重要な支援が得られていることを実感しています。これは、人的配置をしていただかなければ実現しなかったことです。

他にも、スクールソーシャルワーカーを１名（配置）、岡谷市民病院では児童思春期の診療の枠を作っていただくなど、本当にご理解をいただいて、今後、そちらとの連携も（図りながら）、診療の具体的な部分では、中身を充実させたいと描いています。

（市長との）懇談の後、少しずつ理想の形に近づいてきましたので、今日はそのお礼を申し上げたいと思います。

今、私が耕しているのは「家庭の支援」の部分で、学校の現場でできる範囲で「家庭の力」をバックアップしたいと思います。細かい点については、何かの折にご報告したいと思います。市長部局、特に子ども課とのつながりがとても大事で、柔軟なご協力をいただきながら取り組んでいますので、引き続きよろしくお願いします。

市長 いかに専門性を持った方々が少ないのか、という現実を思い知らされました。またよろしくお願いします。

草間職務代理 ぜひ「ひとづくり」のまちをお願いします。

副市長 予定の時間を過ぎておりますので、教育長からまとめをお願いします。

教育長 今日は、教育委員の率直な思いを聞いていただきありがとうございました。私は、教育委員の思いはとても大事だと思っています。（教育委員には）私のチェック機能を担っていただいています、ある面では、仲間として一緒に取り組んでいただきありがたく思っています。そんな思いを市長にもご理解いただいて、一緒に取り組んでいただければと思います。

今日は、本当にありがとうございました。

副市長 どうもありがとうございました。

以上をもちまして、本日の会議事項を終了しました。

事務局に進行をお返しします。

6 閉会

企画政策部長 真剣なご議論をいただき、ありがとうございました。

第２回会議の開催予定は現在のところ未定ですが、必要に応じて開催してまいりたいと考えています。その際は改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いします。

以上をもちまして、平成 28 年度 第 1 回岡谷市総合教育会議を終了します。どうもありがとうございました。